



やまざき くにひろ 山崎 邦廣 議員

問 耕種など今後の農業振興策は

答 的確なニーズ把握で持続化を支援

酪農・畜産を除く農業産出額の実質比率は6割でその内訳は、「野菜」が1億6000万円、「山ブドウ」が6000万円、「葉たばこ」など「工芸農作物」が4000万円、「米」が3000万円、「花き」が2000万円、「いも類」が1000万円となっている。

農林環境エネルギー課長 農地を守るのは、原則所有者なので、野生鳥獣を農地に近づけない処置を指導している。被害が増大した場合は被害補助



せん定作業を控えた山ぶどう農家の圃場

平成28年の農業産出額との比較では、「野菜」や「工芸農作物」、「米」が減となり、「山ぶどう」や「いも類」が増となっている。酪農・畜産を除いた農業産出額の合計では2億3000万円の減となっている。

農林環境エネルギー課長 農地を守るのは、原則所有者なので、野生鳥獣を農地に近づけない処置を指導している。被害が増大した場合は被害補助

今後、山ぶどう栽培農家に山ぶどうの新植苗や作業用機械等を導入する経費の一部を助成する「山ぶどう栽培振興事業」を創設し、生産の継続、拡大を支援している。

今後、山ぶどう栽培農家に山ぶどうの新植苗や作業用機械等を導入する経費の一部を助成する「山ぶどう栽培振興事業」を創設し、生産の継続、拡大を支援している。



こんどう きよし 近藤 聖 議員

問 鳥獣被害の農家への支援は

答 捕獲体制への援助を強化する

農林環境エネルギー課長 農地を守るのは、原則所有者なので、野生鳥獣を農地に近づけない処置を指導している。被害が増大した場合は被害補助



民家近くに設置された捕獲用わな

町内での被害状況は、春から秋にかけて、ロールベールサイレージやデントコーンの圃場などで、食害が発生している。議員 農家の被害が市街地へのクマの出没を防いでいる側面もあると思うが、農家への支援は。

も検討するが、当面は電気柵の設置補助額を増加するなどして援助していく。議員 「葛巻町鳥獣被害防止計画」作成における実施の成果と課題を伺う。

捕獲の担い手確保が重要と考えており、狩猟免許取得講習会を開催することで、町猟友会の会員確保などに努めている。議員 葛巻町でジビエ料理を特産品に育てる考えはないか。

現在子供たちへの被害は発生していない。今後、クマの出没状況の共有、集団での登下校、スクールバス乗車前後の熊鈴の携行の実施や先生方が日常的に対策を話すなど、防止対策に努めていくよう各学校に対し指導する。

人材育成や捕獲者の確保等の基盤整備が前提と考えている。議員 鳥獣捕獲・駆除の体制や諸経費の状況は。町長 昨年度、町の猟友会会員が増え、担当職員の手確保につながっている。被害増加が予想されるので委託料や報奨金、電気柵購入補助金の助成など被害対策拡充を検討する。